

A05 操艇 STEERING

A05

小計106p = 中目次2+本文34+ブランク0

印刷版: ファイル数:34, ページ数34p

デジタル版: ファイル数:34, ページ数34p

ファイルサイズ: 約27 MB

操

艇, つまり艇を操つる技術とは, 離岸から着岸まで, 艇を水面上で思うとおりに移動させる技術といえる。より速く漕ぐことよりも前に, まず艇を「安全に思うとおりに操る」ことができなければならない。

舵手付き艇では, 操艇の大部分の責任と権限が, 舵手(コックス)に委ねられる。舵手は, そのボイスワークとラダーワークで, 艇とクルーを操り, 安全に, そしてより速く進める艇を実現しなければならない。

舵手の発声による制御の部分は, 主に次章A06 舵手(COXING)のところで記述する。

A05: 5章・計27項目

ファイル数: ★

ファイルサイズ: 28 MB

RM4での新規掲載: [RM4] ↓

A05-0 操艇概論 4ファイル, 4p

- A05-001 操艇の特性
- A05-002 操艇の基本
- A05-011 初心者の習熟のありかた
- A05-090 初心者 FAQ-操艇編 [RM3]

A05-1 基本の操艇技術 11ファイル, 11p

- A05-101 直進
- A05-102 操艇技術向上の基本的な方法
- A05-105 距離と艇速をつかむ
- A05-111 停止
- A05-121 方向転換
- A05-131 離岸
- A05-141 着岸
- A05-151 危険への対処
- A05-161 フェリーグライドとラダーの向き [RM4]
- A05-181 舵手なし艇の操艇
- A05-191 艇がまっすぐ進まない

A05-2 日常乗艇での危機回避操艇 9ファイル, 9p

- A05-211 流れ, 風の影響と対処
- A05-212 浸水回避, 浸水時の操艇
- A05-221 衝突回避の操艇
- A05-222 接触(ちゃんばら)の対処
- A05-223 スターンコックスの死角, 操舵, 事例 [RM3]
- A05-231 水門の通過
- A05-241 事例: はしけに衝突, 回避の手順 [RM4]
- A05-251 霧の中でのステアリング
- A05-281 遠漕の基本

A05-3 レースでの戦略的操艇 7ファイル, 7p

- A05-301 強風下でのアプローチ~スタート技術
- A05-302 風に対応した発艇位置へのアプローチ
- A05-303 事例・琵琶湖漕艇場, 横風 [RM4]
- A05-310 艇の方向維持 [RM4]
- A05-322 レーン侵害の対処-ケーススタディ1-
- A05-372 折り返しの操艇技術
- A05-382 浸水時のレース対策

A05-8 遠漕での操艇, 漕航技術 1ファイル, 1p

- A05-871 重量艇の離岸係留 [RM4]

A05-9 ライブラリ 2ファイル, 2p

- A05-901 CBR 第8章に学ぶ-ステアリング編 [RM3]
- A05-902 RF 第22章に学ぶ 操舵編 [RM3]

艇操 STEERING